



# 燕市と学生のために、架け橋ができる事。

燕市と学生が価値を提供しあう架け橋をつくり、そこから独自性の強い情報を発信する事業。

## 発信内容：関係性そのもの

学生の感性をストレートに反映できる関係自体を、燕市の新しい切り口として発信する。提供しあっている事、その成果。

## 教材：燕市自体

燕市を教材に、学んだ「見方・伝え方」を実践する。

## カリキュラム：学生自身で構築

学生自身がカリキュラムを構築し、燕市がサポートする。

## 継続方法：教科書づくり

学生が身につけたことを後輩達へ渡していくための自分達による教科書づくり。

## 伝達方法：交換日記

学生と燕市との間の伝達方法を、交換日記とする。



提供

専門家による、見方・伝え方の技法。

学びの場

見方・伝え方

獲得

ずっと使える基礎スキル

燕市

Tsubame



学生

Student

獲得

燕市への新しい視点・切り口

提供

中高生にしかわからない、感じ方の提示

この経緯を元に、燕市と学生が価値を提供しあい、継続してける枠組みとしてデザイン。

## 関係を支える土台 / 背景

自分たちで企業を巻き込んだ、学生による活動がスタート

この学生の気持ちを、問題解決へのヒントと認識

ビジョンの実現という経験、情報発信のスキルを学んだ。この経験を後輩にも伝えたい

自分たちで、地元企業に冊子のつくり方や、取材先などの支援を依頼

燕市

Tsubame

人材育成 / 若者の主体的な活動を応援する事業

応募

地元を知ってほしいというモチベーション



企業

Company

人材流出という問題 Uターン促進への取組み

地元 PR 冊子の作成

応援・協力

**START** 女子高生ユニット「windows」